

会 議 議 事 録

1 会議名	第4回長岡市新しい市役所検討市民委員会
2 開催日時	平成19年8月27日（月）午後3時半から午後5時半まで
3 開催場所	長岡市厚生会館中ホール
4 出席者名	委員：原会長、田村副会長、井上委員、金子委員、齋藤委員、 関川委員、樋口委員、福田委員、三上委員、渡辺委員、 小熊委員、小坂井委員、 市側：二澤副市長、総務部長、都市整備部長、企画部長、財務部 長、まちなか整備課長、中心市街地活性化推進室長、用地 管財課長、情報政策課長、危機管理防災本部特命主幹、市 民活動推進課長、市民課長、交通政策課長、行政管理課長 （事務局）ほか関係課職員
5 欠席者名	鯉江委員、外山委員
6 議題	(1) 新しい市役所のあり方と基本的な方向性について (2) 新しい市役所の機能について (3) 中心市街地における庁舎配置について (4) 中心市街地への市庁舎移転に伴う効果について (5) その他
7 審議結果の概要	・ 新しい市役所のあり方と基本的な方向性、新しい市役所の機 能、中心市街地における庁舎配置のイメージ等について意見 交換を行った。
8 審議の内容	(別添次第及び資料に基づき議事を進行した。以下に要点を記 す) 1 開 会 ・ 配布資料の確認。 ・ 鯉江委員、外山委員が都合により欠席。 ・ 小川委員は申し出により退任し、これを了承したが、現段階 で委員の補充は考えていない。 2 本日の趣旨について ・ 前回の委員会、たらいまわしのない便利な市役所の実現に 向け、ワンストップサービスの構築が考えられることをお示 しした。 ・ 本日は、詳細な調査結果に基づき、より具体的な窓口イメー

行政管理課長

	<p>ジを提示するのでご意見をいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ また、庁舎配置の一括か分散という問題についても、ご意見を頂戴したい。 ・ 本日のポイントは以上の二つだが、新しい市役所に求められるその他の機能や市民との協働についても一定の案を提示する。 ・ 次回の委員会で予定する中間報告のとりまとめに向け、内容の濃い議論をお願いしたい。 <p>3 議事</p> <p>(1) 新しい市役所のあり方と基本的な方向性(修正案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の委員会でいただいた意見を反映し、一部を修正。 《資料1「新しい市役所のあり方と基本的な方向性(修正案)」に基づき説明》 <p>【意見なし】</p> <p>(2) 新しい市役所の機能について</p> <p>《資料2「身近に感じる便利な市役所(たらいまわしのない市役所)の実現」に基づき説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2の参考にある「処理件数は73万件」というのは、合併市町村も含む数値か。 ・ 「73万件」は旧長岡市の数値である。今後、支所に対しても窓口サービスに関する調査を行う予定であり、支所分は別に整理していきたい。 ・ 資料2で、窓口サービスを「時間がかかるもの」と「時間がかからないもの」に分けているが、それぞれの内容はどのようなものか。 ・ 「時間がかかるもの」の例としては、福祉関係の相談などがあげられる。そういうものは、「各種相談サービス」で対応することを想定している。 ・ 「時間がかからないもの」としては、資料2で示している青色の部分、「証明書発行サービス」などが該当する。これは申請書の記入に基づき、簡単に手続きが終わる内容をまとめたものである。
市民課長 (サービス部会長)	
委員	
市民課長 (サービス部会長)	
会長	
市民課長 (サービス部会長)	

会長	<ul style="list-style-type: none"> 資料2の参考にある処理件数について、多いものと少ないものがあるが、仕事量と処理件数はだいたい比例するのか。
市民課長 (サービス部会長)	<ul style="list-style-type: none"> 1件当たりの処理時間は短いですが、量的なものを考えると、やはり比例する形になる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 資料2で窓口サービスの提供場所を示しているが、1階部分に全ての窓口を配置することは可能か。 フロアマネージャーのあり方を示しているが、具体的にどういう業務を行うのか。
市民課長 (サービス部会長)	<ul style="list-style-type: none"> 資料2では1階に集約するイメージが描かれているが、場合によっては2階も含む低層階への集約配置を想定している。 フロアマネージャーは、市民の流れをきちんと把握しながら、状況に応じてお客様を誘導するなど、フロア全体をマネジメントする役割を担う。なお、フロアマネージャーには相当の知識が必要になるので、研修・育成等を行なう必要があると認識している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 総合受付で振り分け、さらにフロアマネージャーが対応するとなると、体のいい「たらいまわし」となってしまう可能性もある。十分に検討していただきたい。
市民課長 (サービス部会長)	<ul style="list-style-type: none"> 結果的に市民の方に「たらいまわし」が生じないように、十分検証しながら検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 支所で受けられるサービスと、本庁でなければ受けられないサービスを分けて示して欲しい。
市民課長 (サービス部会長)	<ul style="list-style-type: none"> 今後、本庁で行った調査と同様の調査を支所でも実施するので、その中で検討させていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> フロアマネージャーについては、知識だけではなく、できればホテルなどサービス業の研修も受け、しっかりとした対応ができるようにしていただきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 具体的には銀行のフロアマネージャーのようなイメージか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 職員のサービスが随分良くなったと感じているが、まだ民間企業のレベルにはない。来庁した市民が何を求めているのか

<p>委員</p>	<p>を、その様子を察して声を掛けるような気配りが不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡の新しい市役所はすごいサービスをしてけると、全国に誇れる市役所になるとよい。 ・ 意識改革という言葉があった。是非取り組んでいただきたい。
<p>行政管理課総括主査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今、市役所に総合案内があるようだが、その機能を高めればフロアマネージャーは設置しなくてもよいのではないか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、市民課では繁忙期に申請書の記載所に職員を配置している。記入の仕方自体が分からないという方には便利であり、お出でになった方の振り分けは別にしても、フロアマネージャーの必要性はあると考えている。 ・ どこに行けばよいのかという方と、さらに、着いたところでどうすればよいのか分からないという方が、現実問題としていることに配慮する必要がある。
<p>市民課長 (サービス部会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日に半日でも窓口を開けてもらえると便利。そのことは、割と新しい取り組みなのではないか。 ・ 居住地から離れて働く人が今後どんどん増えてくると思う。サービスの1つとして考えていただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進地では夜間や土曜も一部開庁し、手続きが可能になっている所もある。十分検討していきたい。 ・ 証明関係の手続きについては、土日も市民サービスセンター、西サービスセンターで取り扱っている。休日の取扱い業務については、今後考えていかなければならないと思っている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員と市民が、快適なコミュニケーションをとれるかどうかが大切。 ・ 新しい市役所ができて、同時に職員の意識が変わるものではない。意識改革こそ今の段階から取り組んで良くいくべきと思う。 ・ 最近市の施設を利用したが、はさみを借りたくて職員に声を掛けたところ、「自分たちで用意して下さい」と強い口調で言われ、怒られている感じを受けた。 ・ はさみ程度であれば、サービスの1つと考えてもよいのではないか。このように小さなことが、市のイメージダウンにもつながる。 ・ 先ほどの説明の中に、行きやすい市役所、利用しやすい市役

<p>委員</p>	<p>所という文言があったが、笑顔や元気という言葉があると、市民が行きやすくなるのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意識改革あるいはソフト面の改革として、ワンストップサービスは当然だが、出前行政、動く市役所など市民の利便性向上の観点から、柔軟にソフト面での改革をお願いしたい。
<p>用地管財課長 (施設整備部会長)</p>	<p>《資料3「新庁舎の諸機能について」に基づき説明》</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長岡祭りをはじめいろいろなイベント等がある時に、トイレは重要。休日等で庁舎が閉館している場合のトイレの開放についてどのように考えているか。
<p>用地管財課長 (施設整備部会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在の庁舎も長岡祭り等ではトイレを開放している。新庁舎においても、十分検討していく。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者の方で、車椅子を乗せて、自ら車を運転される方への配慮をしていただきたい。 公設の施設でも身体障害者専用の駐車場がない場合がある。是非とも配慮をお願いしたい。
<p>用地管財課長 (施設整備部会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場のなかに、身体障害者用の駐車スペースの設置を予定している。
<p>行政管理課主査</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「新潟県福祉のまちづくり条例」に定める整備基準について、補足する。 高齢者、車椅子使用者、杖使用者、上肢障害者、視覚・聴覚障害者、乳幼児、妊婦など様々な対象を想定し、それぞれの特性をとらえた細かい設備上の指定がされている。 新庁舎はこの整備基準に基づくことはもちろん、それを上回るバリアフリーをめざしたいと検討している。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障害者とも話し合っって要望を出したい。方向性が決まればまたお聞かせいただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員食堂を設けない場合、職員は自分の机や市民ロビーなどで弁当を食べるのか、それとも外食になるのか。

<p>用地管財課長 (施設整備部会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂を設けないことによるメリット、デメリットを精査しながら、今後細部を詰めていきたい。 ・ 例えば弁当の配達や、食事を取るスペースを設けるなど、いろいろ検討したい。 ・ 机で食べるのも選択肢の1つだが、市民サービスの窓口では見苦しいというご意見もある。休憩室を用意することなども検討したい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外で食べることについてはどうか。
<p>用地管財課長 (施設整備部会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっかくまちなかに出るので、外で食べるというのも1つの方法であるし、コンビニ等で買って食べるのも1つの方法である。色々な方法があるので、今後詰めていきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境にやさしい市役所という記載があるが、屋上緑化という意見も出ているので、この点も配慮していただきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員食堂を設けないのは斬新。某市役所でも昼食時間を短くしたことによる周辺飲食店への影響が問題になったが、開かれた市役所というからには、職員は是非まちなかに出て食事していただければと思う。 ・ 外に出やすいように勤務時間も柔軟にしていればよいと思う。 ・ 職員だけでなく、来庁者も外食することによって、まちなかの食環境が充実する。 ・ バスでの来庁者への対応について、注意しなければならないのは、どの路線もバス停が違うこと。また、乗り場と降り場も違う。 ・ バスによって停まるバスとそうでないバスがあるので、移転までに、バス停の改良が必要なものに関しては、併せて検討していただきたい。
<p>総務部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3は、今後の基本設計にあたり基本的な部分を決めていきたいという趣旨で委員の皆様にお示ししている。したがって、詳細が決定していないために、様々なご意見があろうかと思う。 ・ 現段階では、一つひとつの個別のご質問には答えにくいところもあるが、様々なご意見を参考にしながら、細部を決定していきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハード面を含め、多分素晴らしいものができると思う。しかし、次の点に注意しなければならない。 ・ 何年か前に、銀座で世界一素晴らしいホテルを作ろうとある企業が立ち上げ、外見は素晴らしいホテルができたが、社員教育ができていなかった例がある。 ・ ハード面が見事にできたとしても、中身を支え運用していくのは人間であり、1人ひとりが同じ方向に向かっていくことが必要である。建物が立派になっても中身が重要だということを忘れないでいただきたい。
交通政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス停の件で補足させていただきたい。今年度、長岡市のバス利用も含めた公共交通基本計画を策定する予定なので、その中でバスの利便性が上がるような、バス停の位置等についても検討を図っていきたい。
市民活動推進課長 (市民協働部会長)	<p>《資料4「[市民との協働を推進する市役所]の実現に向けて」に基づき説明》</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉の推進という立場で申し上げたい。今ほどの説明の中で、NPO等に対する活動の場の話があった。また、長岡市総合計画においては、総合福祉センターの整備を計画的に進めるという話がある。 ・ 現状としては、市民団体やボランティア団体は非常に場所が狭い中で活動をしている。そこで要望だが、協働しなければならない団体、連携を深めるべき団体を選定する必要があるだろうが、NPOだけではなくもっと広い概念で、個人的に活動している市民団体やボランティア団体も含め、勉強・研修の場や協働の場の確保を検討して欲しい。
市民活動推進課長 (市民協働部会長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働においては、NPOなど特定の団体を想定している訳ではなく、幅広く捉えている。ご指摘のように、正に地域福祉という観点から、地域で活躍されているボランティアの皆様も重要だと考えている。 ・ 例えば、配食サービスは、協働が地域で進んでいる姿だと承知しており、今後も協働する団体等を幅広くとらえた上で、より協働を深めていきたいと考えている。 ・ 協働に関しては、新しい市役所に関するだけでなく、広く捉えていくものと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所の中に、市民協働の拠点として常時開いているスペー

<p>市民活動推進課長 (市民協働部会長)</p>	<p>スが必要なのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民センターが一つのモデルになると考えている。市民センターは土日も開設しており、完全ではないが、市のサービス機能も備わっており、協働の拠点としてモデル的に位置付けている。今後ともこれをモデルに考えていきたい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料4に、情報発信の場について「スタジオ」という記載がある。例えばFMながおかのイメージが浮かぶが、市としてはどんなイメージを持っているのか。
<p>市民活動推進課長 (市民協働部会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検討のなかでは、サテライトスタジオ的な発想で、職員が何かPRしたい、あるいは市民が何かお知らせしたいというようなものを、そんなに大きな設備ではなくても発信できる環境を整備できればと考えている。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して何かご意見があれば。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 竣工までに約3～4年ある。総合案内の話が出たが、来年度からできるものがあれば是非実施していただければと思う。 先ほどの資料3以外のものについてもできるものがあれば、中間報告や最終報告に、来年度までに取り組むものとして入れていただきたい。 スタジオ機能について、まちなかにはかなり空き店舗がある。可能ならば、そういうところで、実験的に取り組んでみてはどうか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合案内所を設置するのであれば、観光客に対する心のこもった案内等、プロ意識を持ったサービスを徹底していただきたい。 長岡祭りなどが近づいたら、浴衣を着てもてなす等のパフォーマンスも個人的には大事だと思う。 笑顔での対応など、今からでもできるはずだと思う。市役所は変わるという取り組みを1日も早く実施していただければと思う。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 議員は日常どのような活動をしているか、市民には分かりづらい。 例えば開かれた議会ということで、1階に大きなスクリーンを設置し、議会での質疑等を映していただければ、市政への

委員	<p>理解が深まるなど、市民にわかりやすいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会の情報発信に関しては、現在、ケーブルテレビでの生放映を行っている。また、全国では未だ取り組みは少ないが、インターネットでの配信や、アーカイブ蓄積による24時間視聴可能な体制も築いている。 ・ これまでは情報公開を進めるといった姿勢であったが、今後は、市民が政策形成まで関われるよう、双方向という体制に持っていこうというのが開かれた議会の考え方。 ・ 議会の位置をどうするかという中で、先ほど低層部分にという意見があったが、市民ニーズの高いサービスを低層階に設置し、議場は中・上層階にした方が、セキュリティの観点からも望ましいだろう。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議場が低層階にある方がいいということではなく、情報発信の一環としてスクリーン等を1階に設置してはどうかと思うが。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信の手法の中で、今はインターネットで対応しているものをテレビ画面に出すということは可能だろうし、大きな画面での対応も可能かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回目の委員会で明るく楽しい市役所にしようと申し上げたが、やはり1番大切なことだと思っている。 ・ 新しい市役所になって、すぐに職員の意識改革ができるとは思っていない。今から訓練していただきたい。 ・ 意識を変えろということは、辛いことがあっても人を許していくとか、愛が必要。市役所へ来て下さる方へ愛を持っていただきたい。これを1日1回でも実践することで、新庁舎ができる3年の間に意識が変わるのではないか。少しずつでも実践すべきと思っている。
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未だ民間のレベルではないかもしれないが、意識改革については日ごろから取り組んでいる。 ・ 今後「開かれた」というコンセプトに見合う意識改革はどういうものか検討する必要があるが、建物ができてからではなく、できたと同時にサービスを展開することは当然と考えている。 ・ 例えば、今年から市民課では「いらっしやいませ」という声掛けを始めている例もあり、今後も、一層進めていくつもり

<p>委員</p>	<p>で取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に「おもてなし」という記載がある。おもてなしをするために、職員食堂ということではなくて、レストランのようなホッとできるスペースがあった方がいいのではないかと気になった。 コスト面を考えると難しいのかも知れないが、考えをお聞かせいただきたい。
<p>まちなか整備課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成の公会堂に関するワークショップでも、同様のご意見をいただいている。 現在、設計者を決めるコンペを実施しているが、市民ロビーに喫茶・軽食のできるスペースを配置するという条件を設けていることもあり、ご提案は実現できる。
	<p>(3) 中心市街地における庁舎配置について</p>
<p>行政管理課長</p>	<p>《資料5「中心市街地における庁舎配置について(案)」に基づき説明》</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一括配置か分散配置かについて、議会の調査検討委員会では分散配置に積極的な意見もあったし、一括配置が好ましいがやむを得ないという意見もあったが、最終的に分散配置に賛成した。 分散配置に関しては、市役所機能を具体的に再配置した想定的なイメージをもとに再度考えていく予定である。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地構造改革会議にも関わっていたことから、お話しさせていただく。 分散配置という言葉が1人歩きしていて、市民に誤解を与えているのではと当初より懸念していた。 現在、市政だよりには、合併したことにより市の出先機関が点在していることが分散配置で、これが悪いこととして掲載されている。そこに、同じ「分散」という言葉で、中心市街地への分散配置を使ってしまっているのが、語弊が生じている。 先日、「まち交大賞」を長岡市が受賞したが、これは市民センターなど色々な機関をまちなかに持ってくる実験的な取り組みが評価された経緯がある。 このため、中心市街地に分散配置するのではなく、集中配置

<p>委員</p>	<p>するというイメージでとらえた方が市民に分りやすいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、さらに合併するかも知れないし、人口がどうなるのかは避けて通れない問題である。今、長岡市の旧市域では50歳代が1番多い。それに比べ0～10歳代はその3分の2しかない。50年後には、現在の0～10歳代が50代になって長岡市を支えていくことになる。つまり、現在が人口のピークとなっている。 ・ こういうことから、将来、年齢構成が変わっていくと考えると、一括配置よりも、柔軟に対応できる庁舎配置を考えていく必要があるのではないかと思っている。 ・ 要望だが、考え方だけでも良いので支所をどう使うかについても、最終報告の段階で入れていただくと、全ての市民が市役所全体の使い方を共有できるのではないかと思う。
<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本庁でなければ受けられないサービスはどのようなものがあるのか。支所で全て済ますことができないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 合併した地域については、証明から相談まで全部支所で取り扱いができる。 ・ したがって、基本的に合併地域の市民が本庁まで足を運んでいただかなくても済む体制になっている。 ・ また、まちなかに出たついでに支所ではなく、本庁でも用が足せるという面もあるが、本庁に用があるから行く、行かないとかではなく、開かれた本庁に足を運んでいただく中で、市民と一体となったまちづくり機運の醸成につながればと考えている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支所地域でも、長岡市の本庁舎を利用させてもらいたいという気持ちになっている。観光面など色々な面で活用できるとよいと思う。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支所でも本庁でも同じ手続きが可能なのか。
<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ その通りである。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手続きについてはわかったが、相談窓口についてはどうか。窓口で情報を効率よく活用していける形があるのか。また、支所ではどんなことについても答えられるのか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全く同じということはないのではないか。社会福祉協議会では弁護士等による相談もあるが、弁護士を支所に配置することは社会福祉協議会としてはできない。本庁に来ないと受けられない相談等もあるのではないか。
行政管理課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘のとおり、お話のあった事柄まで支所で対応できるかということ、全部が全部本庁と同じというわけにはいかず、支所ではできない部分もあるかと思う。 ・ ただし、支所でも、例えば福祉の相談窓口は設けてあり、一定の部分は対応できる。より高度で専門的な相談が必要なケースが生じた場合には、本庁で対応する場合もあると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料5の別紙の厚生会館地区について、「議会機能」という記載があるので議会の特性について述べさせていただく。 ・ 議会の特性という観点からは、行政ときちんと階層分けをすることが必要であること、また、議会内は同一フロアが望ましい。 ・ 開かれた議会として、情報公開から情報発信へ、さらには双方向の発信を進めていきたい。 ・ 議場の広さについては、将来の合併等を想定しながら、議員の数に応じたスペースの確保をお願いしたい。議場の中は、面談式、対面式等について今後討議を重ねたい。 ・ できるだけ議会と市民との距離を縮めるために、傍聴のしやすさという観点からバリアフリー、子ども連れの方にも傍聴しやすい環境を考えていく。 ・ 現在は、後ろからしか傍聴できないが、L字型、コの字型など多方面から見えるような工夫や、現在は少し目線が高いが、それを下げる配慮をしたい。 ・ 議場内のカメラについて、現在は議長に向けた1方向だが、逆方向も含めて、多方面の目線から情報発信していきたい。 ・ 委員会室等の開放については、議会運営を最優先にし、一定の条件に基づいて行いたい。 ・ 最後に、双方向という観点から、面談室や応接室など市民が気楽に相談できるような空間づくりについても配慮していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分散配置になる場合、行政機能として大きく4ヶ所への配置という理解でいいか。
行政管理課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのとおりである。ただし、既に遠く離れた場所で、独立し

<p>行政管理課統括主査</p>	<p>た業務を行っている水道局、環境関係の部署については、引き続きその場所で業務にあたる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、幸町地区を基点として分散しているものを、中心市街地に集約すると理解していただければと思う。 ・ 先ほどの相談窓口における効率的な情報活用についてのご質問について、現在サービス部会で検討している。 ・ 情報の連携について技術的には簡単だが、扱う情報はいわゆる個人情報なので、情報の切り分けを適切に行った上で窓口を提供し、よりよいサービスを提供していきたいと考えている。
<p>まちなか整備課長</p>	<p style="text-align: center;">(4) 中心市街地への市庁舎移転に伴う効果について</p> <p>《資料6「中心市街地への市庁舎移転に伴う効果について」に基づき説明》</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからいくつも新しい建物ができる。市内には千秋が原という場所があるが、そこにある建物は個々には美しいものの、全体としてバランスを欠いている。 ・ ヨーロッパには美しい街並みがある。新しい建物が別々の計画に基づいて設計されてしまうと、個々にはよくても、街並みとしては良くないという結果になることが懸念される。 ・ 中心となるのは厚生会館地区として、他の再開発ビルとも調和したデザインをコーディネートできる可能性があるのか。できたら、設計者の方にもご意見をいただきながら、調和ということができればいい。その可能性を伺いたい。
<p>まちなか整備課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生会館地区については、設計者を決めるコンペの中で周辺の状況、ビルの高さ等全て条件提示している。 ・ 周辺の環境と調和したデザインであって欲しいと明記しているので、厚生会館地区については周辺景観に配慮した建物のデザインになると考えている。 ・ 再開発地区との連動については当然のことだと思っている。そういう意味で、お互いに情報共有しながら、一体化したまちづくり、街並みの形成を考えていくべきと思っている。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡駅を中心としてまちなか全体を市役所にするという考え方は素晴らしいと思う。市民は、行政サービスの質や量を円滑に提供されることを望んでいるので、利用しやすい建物と

	<p>構造、空間・ゆとりを考慮していただければいいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の会議では、ソフト面のことが多く出されたが、親切、丁寧、明るく、笑顔で元気に、こういった明るい市役所を望んでいる。
	<p>(5) その他</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生会館地区の整備にあたり、平成公会堂と中央公民館、ウィル長岡、リリックホール、市民センターなどの住み分けの整理が必要だと思うので、配慮をお願いしたい。また、利用料金を安く、使い勝手のよい施設ということについても要望したい。
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ いただいたご意見を基に、次回事務局として新しい市役所プランの骨格案を整理したいと考えている。 ・ 仮に骨格案に大きな修正がない場合には、これを中間報告としてまとめたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 骨格案は事前に送付されるのか。
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送付する。
行政管理課課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は9月10日の週に開催する予定であり、具体的な日取りは後日ご連絡する。
	<p>4 閉 会</p>